

小規模特別養護老人ホーム 昂 平成 25 年度事業報告書

1 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

職名 区分	施設長	管理者	介護支援専門員	生活相談員	医師	看護師	機能訓練指導員	介護職員	栄養士	事務員	環境整備員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	1	(1)	1	1	10	1			17
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	2		1	1	17	1	1		26
正規職員以外の配置 ・・・③					(1)			5			1	6
現員計 ②+③=④	1	1	1	2	(1)	1	1	22	1	1	1	32

※ 基準定数は、人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。

※ 嘱託医は、〔 〕内で記入。

2 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

	男	女	計
入所者数	0人 (1人)	9人 (3人)	9人 (4人)
退所者数 (亡くなった方を含む)	1人 (1人)	8人 (3人)	9人 (4人)
年度末現在の入所者在籍数	10人 (0人)	19人 (0人)	29人 (0人)

() は、短期入所利用者数を示す。

3 利用者処遇の充実の状況

(1) ケアカンファレンス実施状況

(当該年度 3月31日現在)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	臨時			
運営会議	12	0	第1水曜	㊟・無	施設長・副施設長（CM）各ユニットリーダー・看護師・栄養士・相談員
ケース会議	116	21	随時		居室担当またはユニットリーダー・看護師・栄養士・機能訓練指導員・相談員（CM）
入所判定会議	12	4	第1水曜		運営会議に同じ
職員全体会議	12	0	第3水曜		全職員

(2) 機能訓練実施状況

(当該年度 年間実績)

個別機能訓練

歩行訓練等（平行棒）	週1回実施 3名、週2回実施 1名
歩行訓練（ユニット内）	毎日4名
関節可動域訓練	週1～2回実施 5名、週3回 1名
下肢マッサージ等	週5回～毎日実施 3名
嚥下機能訓練（嚥下マッサージ）	毎日実施2名

生活上機能訓練

作業レク（折り紙・塗り絵・書字等）	月3回～随時
トイレ内動作訓練（立位保持等）	毎日14名
洗濯物たたみ・箱折等	毎日実施4名

その他

歯磨き・更衣等日常生活関連動作の促し	毎日14名
--------------------	-------

(3) 虐待防止に向けた取り組みの状況

(当該年度 年間実績)

施設としてどのような体制を整備しているか。（例：責任者の設置等）

苦情受付の担当者を定め、虐待（の疑い）があった場合には、口頭又は施設内に5か所の苦情受付箱を設置し投書ができるように体制を整えている。

施設としてどのような取り組みを行っているか。(例：研修の実施、掲示等)

平成 25 年度、法人全体として虐待防止の研修を開催し虐待に対する意識を高めた。また、運営会議メンバーにて虐待防止委員会を年に 2 回開催し、施設内の対応が虐待にあたるか検討している。虐待防止委員会から話しが挙げた内容に対し、職員全体会議にて注意喚起を行っている。利用者間の人間関係に留意している。苦情等の相談（虐待を含む）責任者を設置し、窓口等の案内を施設内に掲示している。

(4) 嘱託医師の回診の状況

(当該年度 年間実績)

週 1 回水曜日昂診療所にて嘱託医による往診を行なっている。12 月より往診時間が 10:00~12:00 に変更となり、当日処方薬がスムーズに内服、使用できるようになる。

往診内容	入所者様の診察、創処置、検査指示、薬の処方、入所者様およびご家族様への病状説明、診療相談・指導、主治医意見書作成、診療情報提供書作成、ワクチン予防接種など。往診日以外に入所者様の体調に変化があった場合は、看護師から嘱託医にすみやかに報告し、嘱託医の指示のもと対処している。
リスクマネジメント	誤薬防止について江川医師より直接ユニット職員全員にダブルチェックの必要性、職員の体調不良時や、注意力低下時についてのフォローの話をし、朝礼で啓発する。

(5) 食事の状況

(当該年度 年間実績)

食事時間	朝食 7:30~9:00 昼食 12:00~13:30 おやつ 15:00 夕食 17:30~19:00
食費	朝食、昼食、夕食 = 1,380 円 (減額有) おやつ = 50 円

食事形態 (在籍者数 平成 26 年 3 月 31 日現在 29 人)

常食	軟菜食	刻み食	ミキサー	ゼリー食	経管栄養
11 人	8 人	1 人	2 人	4 人	3 人

代替食

各入居者の好み等により個別に対応 (ごはん or パン食(朝食)、牛乳 or ヨーグルト、肉禁等) 栄養年報 (平成 26 年 3 月 31 日現在) (※ゼリー食、経管栄養の方を除く)

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食塩相当量
給与目標量	1,540Kcal	57.5 g	35.3 g	664 mg	8.6 g
給与栄養量	1,565Kcal	61.8 g	35.6 g	640 mg	9.3 g

(6) 入浴の状況

(当該年度 年間実績)

入浴内容 区分	一般浴	特別浴	リフト浴
利用(入浴)者数	391人	1431人	1098人
1人当たり週回数	週 2 回	週 2 回	週 2 回
実施(曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)	(月～土曜日)
入浴時間帯	10時00分 ～16時00分	10時00分 ～16時00分	10時00分 ～16時00分
介護員数	1人	2人	1人

(7) 身体拘束の有無

(当該年度 年間実績)

身体拘束の有無	記録の有無	同意の有無	理由
無	無	無	当該年度、身体拘束者該当者無し

(8) 行事・ボランティア活動

(当該年度 年間実績)

4月	お花見外出
8月	山二ツ諏訪神社大祭 昂納涼会(花火鑑賞会)
10月	敬老会
11月	紅葉ドライブ
1月	新年会
2月	節分 寿司屋台

その他、ユニット毎の行事・レクリエーションや個別外出等あり。

(9) 防災訓練実施の状況

(当該年度 年間実績)

<p>全職員に向けて担当区域毎に「火元責任者」を割り振り、毎月「火元責任者自主検査チェック表」のチェックを実施。9月・3月には「構造関係」「避難関係」「電気器具」のチェックを行っている。</p> <p>また、別に設置している「防火担当責任者」には「防火担当責任者自主点検チェック表」に基づいての確認を指示・実施した。</p> <p>避難訓練は、4月30日と11月28日に実施。4月の避難訓練は2回目の夜間想定で行った。2回目という事もあり、避難誘導に当たった職員同士の連携は昨年9月に行った訓練より連携はうまく取れてきている様に思われる。また初めての職員に関しては、今後の課題も残った。今後も新しい職員の防災意識を高める事と共に、他職員の防災への意識を今以上に持ってもらい新しい職員の指導を担えるように働きかけをしていきたい。</p>

(10) 運営推進会議の状況

(当該年度 年間実績)

開催日	2ヶ月に1回 第3水曜日 13:30~14:30
構成員	1 地域住民代表者（自治会長・山潟地区民生委員） 2 地域包括支援センター 3 御利用者様代表 4 御家族様代表 5 第三者委員（大学教員） 6 当該事業知見者 7 当該施設代表（施設長） 8 当該施設職員（介護支援専門員） 9 施設関係者（法人本部）
内容	利用者状況報告（入退所状況・入所者変動・空所利用状況等） 事故報告・ひやりはっと件数報告・苦情相談内容報告 サービス活動状況報告・サービスへの要望及び助言 その他 前回懸案事項についての報告・回答

4 苦情解決体制の整備の状況

(1) 苦情解決の仕組みの周知方法の状況

(当該年度 年間実績)

利用者への周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	① ・ 無	有 ・ ②	③ ・ 無	
解決方法の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	有 ・ ④		有 ・ ⑤	重要事項及び契約書に記載・施設内掲示

(2) 相談受付件数及び概要

(当該年度 年間実績)

相談件数 4件

日時	相談者	相談内容
H25.9.3 来所時	F様妻	娘や息子が来たときに、一緒に外出してご飯も食べて来たいと思っているが可能か。
H25.10.23 来所時	H様次女様	母は昔から漬物が好きで、食べたいとずっと言っている。今まではショートステイの方から持ち込み禁止と言われていたので自宅で生活ができなくなってから食べていない。食べたい物を食べさせてあげたいと思っているが、持ち込みは禁止か。

H26.2.6 来所時	K 様長女	他の方で仏壇をお部屋に持って来られている方がいたが、持って来ても良いか。火は使わないように蝋燭は電気の物にする。また、父親の命日にお寺様に来てもらってお経をあげてもらいたいと母親が言っているが、許可いただけるものか。
H26.3.16 来所時	M 様長女	これまで母の介護を父親に任せきりだったので、母の状態や内服薬について主治医から説明を受けたい。

苦情件数 0 件

日時	相談者	相談内容

5 短期入所生活介護（空床型）事業の状況

（当該年度 年間実績）

短期入所生活介護（空床型）について

当施設は短期入所生活介護の申請をしている。特別養護老人ホームに入所されている方が、長期入院等、または退所した場合に長期に渡り空床が生じた場合に短期入所生活介護（ショートステイ）として要支援から要介護までの方に一定期間の間、施設サービスをご利用いただくことができる。

年間実績

前述、入院による空床期間や入所されるまでの空き期間で年間延べ4名の方が短期入所生活介護を利用される。

問題点

急な空床に伴うご利用者及び居宅介護支援事業所等への連絡やご案内をするも、期間限定での利用ため居宅介護支援事業者からの問合せに対し、利用期間が合わないためお断りさせていただく場合もあった。

対応策

新潟市内の送迎可能な地域の居宅介護支援事業所にファクシミリで空床の案内を連絡し、先方より問い合わせを頂き空床期間が少なく利用していただいた。

6 待機者の状況

(平成25年度 3月31日現在)

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	2	6	13	8	3	32

*現在、新年度に向けて待機者の状態確認を実施中

7 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
運営会議	12	0	第一水曜	有・無	所長・管理者・看護師・栄養士・各UL
職員全体会議	12	0	第三水曜	有・無	全職員
ユニット会議	36	0	各委員会定例日	有・無	各ユニット職員
各委員会会議	35	0	各委員会定例日	有・無	委員会責任者・各委員長各ユニット担当職員

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

	研修名	実施年月日	対象者	参加人員	内容
施設内研修	排泄についての勉強会(排便編)	4.25	全職員		講義と演習
	高齢者身体の仕組み…何故事故が起こり易いのか、筋力反射神経の低下からの転倒のリスクと転倒後の状態	6.06	全職員		講義
	食中毒勉強会	6.20 8.06	全職員		講義
	看取りセミナー伝達講習	7.25	全職員		講義
	口腔ケア研修	9.26	全職員		講義
	リスクマネジメント勉強会	10.24	全職員		講義

	感染症対策の勉強会	11. 25 11. 28	全職員		講義
施設外研修	衛生環境管理セミナー	5. 16	介護職員	1	講義
	看取りケアの不安を解消するセミナー	5. 23	介護職員	1	講義
	看取りケアの不安を解消するセミナー	5. 23	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	5. 30 5. 31	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	6. 03 6. 04	介護職員	1	講義
	エイシン福祉センター 介護職員新人研修	6. 12	介護職員	2	講義
	エイシン福祉センター 介護職員新人研修	6. 12	介護職員	1	講義
	接遇研修（初心者研修）	6. 17	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	6. 24 6. 25	介護職員	1	講義
	社会福祉施設新任職員研修	7. 01 7. 02	介護職員	1	講義
	認知症ケア研修	7. 03	介護職員	1	講義
	認知症ケア研修	7. 03	介護職員	1	講義
	社会福祉施設中堅職員研修	7. 04 7. 05	介護職員	1	講義
	脱水症とその対策～高齢者の水管理と熱中症～	7. 09	介護職員	1	講義
	伝える力研修	7. 10	介護支援専門員	1	講義
	特定給食施設衛生管理指導会	7. 11	栄養士	1	講義
	メンタルヘルス研修（管理者）	7. 18	管理者	1	講義
	社会福祉トップセミナー	7. 22	管理者	1	講義
	虐待予防・対応研修	7. 29	介護支援専門員	1	講義
	事業所における虐待・対応研修	7. 29	介護支援専門員	1	講義
社会福祉施設中堅職員研修	8. 05 8. 06	介護職員	1	講義	
社会福祉施設中堅職員研修	8. 29 8. 30	介護職員	1	講義	

災害対応研修	8.23	介護職員	1	講義
メンタルヘルス研修（一般職員）	9.03	介護職員	1	講義
メンタルヘルス研修（一般職員）	9.03	介護職員	1	講義
指導的職員研修	9.19 9.20	介護職員	1	講義
全国フットケア特別技術講習体験	9.28	機能訓練指導員	1	講義
職場研修担当職員研修（初級コース）	10.02 10.03	介護職員	1	講義
職場研修担当職員研修（中級コース）	10.16 10.17	介護職員	1	講義
患者の期待と苦情対応	10.24	看護職員	1	講義
医療・福祉従事者の為の苦情解決研修会	10.28	介護職員	1	講義
介護予防従事者研修（栄養改善・口腔機能の向上）	10.28	栄養士	1	講義・ グループワーク
新潟県特別養護老人ホーム等施設職員研修	11.20	介護職員	2	講義・ グループワーク
医療施設・介護施設・衛生環境セミナー	11.23	介護職員	2	講義と演習
口腔機能向上トレーニング方法	3.04	介護職員	1	講義

8 建物・設備等の保守点検の状況

(1) 危険な欠損、損傷個所の状況

(当該年度 3月31日現在)

危険箇所	具体的な状況	今後の対応
駐車場南側 植え込み土の沈下	隣接する田んぼに土止めの板を貼ってあるが、板が腐って土止めの役割をせず、土が田んぼに流れてしまった。	建築業者に依頼し、土止めの板を張り替え対応する。また沈下した土の部分にはコンクリートを入れ土を被せて対応した。